

⑤ 築川ダム建設(堤体工)工事 清水建設(株)・(株)鴻池組・(株)平野組特定共同企業体

盛岡市内に治水対策・水源確保を目的とした多目的ダムを作ります。



平成 30 年 6 月 ダム下流から上流を望む

ケーブルクレーン
+コンクリートバケット

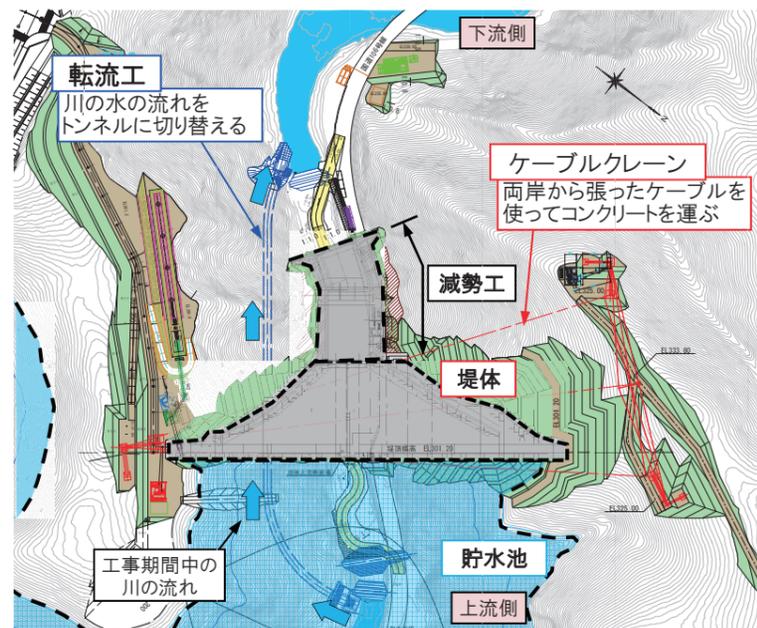


1 目的・概要

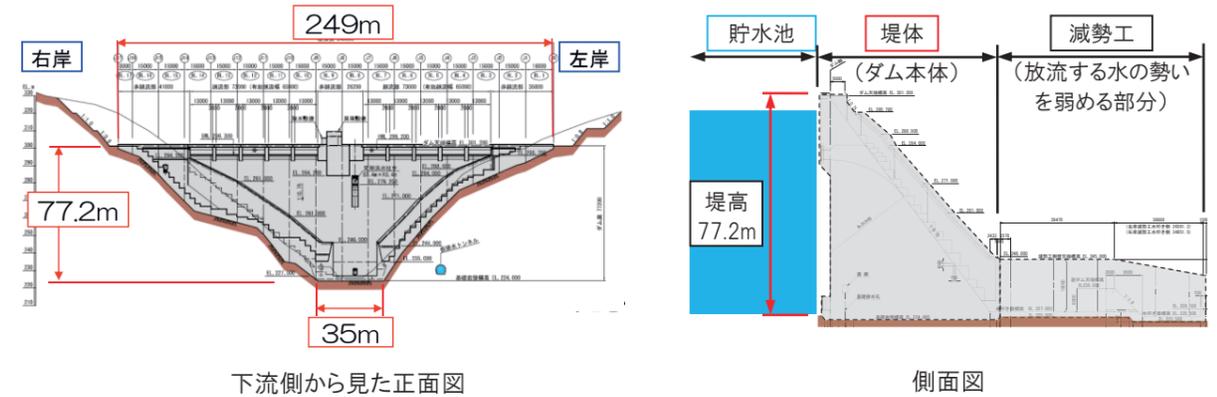
築川は、岩手県中央部に位置し、その源を盛岡市東端の岩神山(標高 1,103m)に発し、途中、根田茂川を合流しながら下流し、盛岡市街において北上川と合流する一級河川で、下流部には盛岡市の市街地が形成されています。

築川ダムは、治水対策及び水源確保を目的として、盛岡市川目地内に建設中の、堤高 77.2m、堤頂長 249.0m、堤体積 230,000m³、総貯水容量 1,910 万 m³ の重力式コンクリートダムです。重力式コンクリートダムとは、ダムの重さによって貯めた水の圧力に耐える形式のダムのことです。

ダム建設工事は平成 26 年 12 月に着手、平成 28 年 2 月に転流工、平成 28 年 12 月に基礎掘削工を終え、平成 29 年 4 月から堤体打設(ダム本体を作る工事)を開始し、現在 2 年目を迎えています。



築川ダム平面図

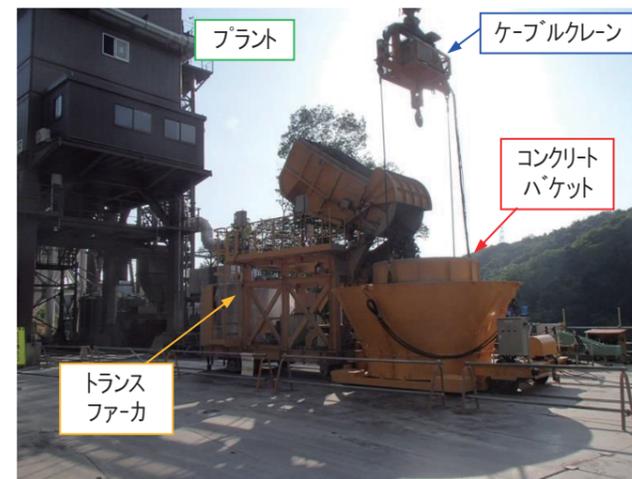


2 現場を支える技術 ～～ 拡張レヤ工法(ELCM) ～～

○拡張レヤ工法(Extended Layer Construction Method)

堤体(ダム本体)を作る際に、大きな高低差をつけることなく、平面状に堤体を打ち上げていく工法を面状工法と呼びます。拡張レヤ工法は面状工法の一つで、仮設備の能力に合わせて、2 ブロック以上の広い範囲を一度に打設するのが特徴です。

築川ダムは、ケーブルクレーンを使用した拡張レヤ工法を採用し、平成 31 年度の堤体打設完了を目指します。



ケーブルクレーンによりコンクリートを運搬



拡張レヤ工法による堤体打設

3 工程・スケジュール

工種	H26	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
準備工	4	10	4	10	4	10	4
転流工							
基礎掘削工							
堤体工							
基礎処理工							
付属設備工							
雑工事							
仮設備工							
試験湛水							

掘削・プラント工事

堤体打設: 工事の最盛期!

KEY PERSON

平成 26 年に着手した築川ダム建設(堤体工)工事は、現在堤体工が最盛期を迎え、24 時間体制でコンクリートの打設を進めており、日に日にダムの高さが高くなっており、盛岡市内から近いダム現場ですので、ぜひ一度見学にお越しください。

一般社団法人 日本建設業連合会 東北支部
仙台市青葉区本町2-2-3
TEL 022-221-7810 FAX 022-265-9465

清水・鴻池・平野特定建設工事共同企業体
工事課長代理 朝山 順一

